

衆議院北朝鮮による拉致問題等に関する 特別委員会ニュース

平成 29. 12. 21 第 195 回国会第 3 号（閉会中審査）

12 月 21 日（木）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 北朝鮮による拉致問題等に関する件

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表

北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会会長

特定失踪者問題調査会代表

横田早紀江君

飯塚繁雄君

斎藤文代君

西岡力君

荒木和博君

（質疑者及び主な質疑内容）

赤澤亮正君（自民）

- ・11 月 6 日のトランプ米国大統領との面会とその後の動きに関してどのように感じているか、横田参考人、飯塚参考人及び斎藤参考人に伺いたい。

西村智奈美君（立憲）

- ・横田参考人は 11 月 18 日の新潟市内での集会で、安倍総理が平壤に行って金正恩と話し合ってくれたらありがたい旨の発言をしたと報じられているが、安倍総理と金正恩委員長との直接交渉について見解を伺いたい。
- ・家族会と救う会は今年 2 月に新しい運動方針を決定し、「今年中に拉致被害者救出を」と訴えた。「今年中に」という文言を加えた理由及び年末になっても事態が進展していない現状への思いを飯塚参考人に伺いたい。

もとむら賢太郎君（希望）

- ・拉致被害者 5 人の帰国後 15 年間はどのような時間だったか、また、未来に対して我々にどのような指導をいただけるのか、横田参考人に伺いたい。
- ・希望の党は、日朝平壤宣言やストックホルム合意を全て白紙の状態にした上で、日朝国交正常化交渉を一旦中断し、拉致被害者救出に的を絞った対応に切り替えるべきと安倍総理に要請文を提出したが、これらの考えについて、荒木参考人の所見を伺いたい。

竹内譲君（公明）

- ・荒木参考人は、金正恩委員長について、恐怖心と猜疑心の塊で、もはやコントロールが効かなくなっていると指摘しているが、取引はできない人間とみるべきか、見解を伺いたい。
- ・金正恩委員長に対する朝鮮労働党組織指導部の影響力、金委員長が拉致被害者解放と引き換えに取引する可能性について、西岡参考人に伺いたい。

江田憲司君（無会）

- ・家族が拉致被害者の情報を政府から何らかの形で提供を受けているのか否か、横田参考人、飯塚参考人及び斎藤参考人に確認したい。
- ・2002 年の日朝首脳会談の経験を踏まえ、今後の拉致問題の交渉の在り方について安倍総理に指摘したいことがあれば、飯塚参考人及び西岡参考人の意見を伺いたい。

笠井亮君（共産）

- ・今年 6 月の「あさがおの会」（横田めぐみさんの両親を支援する団体）総会で、横田参考人が、数年前に安倍総理と面会した際に金正恩委員長と直接交渉するよう申し入れたと語ったと聞いているが、総理との面会時のやり取り及び横田参考人の所感を伺いたい。
- ・日本や米国と北朝鮮との間で緊張が続く一方、日本には北朝鮮とコミュニケーションできるチャンネルが不足

していると指摘される現状について、横田参考人、飯塚参考人及び齋藤参考人の見解を伺いたい。

申田誠一君（維新）

- ・拉致被害者5人の帰国後15年間における政府の活動に対する評価とその理由について、横田参考人に伺いたい。
- ・米国による北朝鮮のテロ支援国家再指定や国連総会におけるトランプ大統領による拉致問題に関する発言に対し、そのフォローアップの方法について、飯塚参考人及び西岡参考人に伺いたい。

石崎徹君（自民）

- ・アントニオ猪木参議院議員の訪朝への評価も含めて、政府によらない議員外交の在り方について、横田参考人、飯塚参考人及び西岡参考人に伺いたい。